

1997.10 No.123

# Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷政司 印刷所 東京印刷(株)



## 新OB会会長あいさつ

鶴田 武久氏 (第6期卒)

松田一三氏、手島敏弘に次いでOB会三代目の会長を務める事となりました。卒業して15年、不良OB会員の私がその役を務める事が出来かねるとの思いが強いのですが、従来副会長1人制を2人制に強化してやるからとの前会長の手島氏のすすめで引き受けました。本心はもっと若い所で会長を出すべきだとは思いますが松田一氏、手島氏初めその他60才前後の年寄りが出席しやすいように、との考え方で私に役割が当たられたと思います。先日「美さご」において新OBの卒業及びOB会入会の席が有りました。40数名のOBが出席され、なつかしい顔、まったく知らない人が有りましたが、皆さん実に喜々として参加されており、非常にたのもしく感じられました。在職中は人との出会いをより大切に皆様方のお世話をしようと思います。時には現役の三役の方々にも出席いただき交流いただければ幸いです。何はともあれ西部青年中央会を今まで以上に大切に敬愛し、お付き合いをしたいと思います。現役、OB、共々宜敷くお願ひ致します。

## 「はい、Aセット大当たり～！」

『とびつきり鳥取夢発信』プレゼント抽選会実施される

みなど博の会期もあと10日間となった9月18日、8月3日に中継された番組のプレゼント抽選会が、山陰ビデオシステムにて行われた。

8月末迄に集まったはがきは、全国の150局余りの視聴者から約360通。北は山形、仙台、南は九州大分からと県外からの応募も187通にのぼり、みなど博への関心の高さがうかがえた。

当日は松本実行委員長、小原会長、目次プロデューサーが出席。高橋OB（ビデオシステム社長）も加わり厳正な抽選が行われた。各賞次々と小原会長がはがきを引き当て合計45名の当選者が決まった。会員家族からの応募の当選もあり、「うまく散らばったわい」と会長も御満悦であった。はがきには中継の感想も書かれており、2、3紹介する。

・米子にきて7年目になりますが「中央会」の存在を初めて知りました。鳥取県の将来を背負っていかれる経営者の皆様の意気込みを興味深く拝見しました。一消費者として応援しています。（米子市 主婦）

・中央会のホームページ見ました。トライアスロンほかたくさんの活動の様子がよくわかりました。（岡山市 男性）

・企画、運営とともに素人集団にしては合格点だと思う。（鳥取市 男性）

プレゼントに協賛いただいた会員企業の皆さん、ありがとうございました。



## 9月例会開催される

9月22日月曜日、ホテルわこうにおいて9月例会が開催された。

会長の挨拶の後、今年初めて設けられた委員会タイムでは、例会担当の社会プログラム委員会の武海・市位会員が進行役となって相田みつお氏の詩を題材にして進められた。秋の夕べ、相田氏の作品を味わいながら、生きるということの意味をしばしの間ではあったが、考えてみると出でた素晴らしい企画であったと思う。僅か15分という短時間にも拘わらず、OHPやBGMを使った演出には、担当の社会プログラム委員会の熱意を感じることが出来た。

そして講演会では、講師に本会20期卒業の太田正志OB（太田正志弁護士事務所・鳥取県弁護士会会長）を迎えて「社会問題を法律家の視点から」というテーマで1時間半にわたり講演いただいた。

講演は1. 安楽死、尊厳死について、2. 少年法をめぐる問題、3. 法曹養成問題の現状と動向の3つの柱で構成され、複雑・多様化する社会のなかで、実際の判例などを引用して各問題を解説いただいた。

安楽死、尊厳死問題では、積極的安楽死・消極的安楽死・間接的安楽死・尊厳死などケースによって考え方があり、消極的安楽死以下については、①末期の患者②他の

代替手段がない③本人の意志などの要件を満たしている場合は、容認される環境が出来つつあるが、生命短縮を人為的に行われる積極的安楽死については、依然議論が分かれている。また、日本では消極的安楽死や尊厳死についての議論以前に、積極的安楽死の問題が提起された経緯が、段階的なコンセンサスの形成を阻害しているとも指摘された。医療技術の高度化、人口の高齢化など、この問題については、今後益々身近な問題となってくる可能性があり、法整備だけに限らず、自身の問題として考える必要があるようだ。

普段何気なく目を通している新聞のコラム欄を、意識して見なければならぬことを痛感させていただいた講演会であった。お忙しい中、我々現役のため、ご講演いただいた太田OBに感謝申し上げるとともに、今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



## リサイクルプラザ見学会報告

21地球委員会 大野木 昭夫

今年の委員会テーマとして、環境問題を取り上げ、委員会で討論を重ねてまいりました。一口に環境問題と申しましても、地球環境から地域環境まで非常に幅広く焦点を絞りきれない中で、身近な問題の一つとして、社会経済状況の発展による生活向上、生活様式の多様化によって増加する廃棄物の処理について勉強会を実施する事にいたしました。

我が21地球委員会は9月8日午後2時から4時まで、小原会長に特別参加をしていただき、好天の中、岸本町にあるリサイクルプラザを見学いたしました。

リサイクルプラザは、平成6年度より3ヶ年事業として、鳥取県西部広域行政管理組合が建設をいたしました。今年4月より稼働しており、1日平均47tのゴミを処理しております。対象になる地域は、米子市、西伯町、会見町、岸本町、



日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町、溝口町の1市12町村です。

この中で米子市の不燃物の搬入量は、全体の70%を占めているのにかかわらず、岸本町にできたのはなぜか？思わず疑問になったのは私だけではありませんでした。到着後、施設の説明を伺って、リサイクルプラザのなかを見学させていただきました。設備は非常に清潔に且つ整然と管理されており、廃棄物の処理施設のイメージを払拭させられました。見学者の中には、学校の社会研修で来られて、子供の頃から環境問題を考えさせるためには非常に良い場所であると感じました。その反面、大人であり、親である私たちの日常生活態度はいかがなものか！と、非常に考えさせられました。

地球環境汚染が非常に大きな問題と呼ばれているなか、環境問題について、日常の私たちの行動が問題になっているような気がしました。私たちは、被害者であり加害者であると「気づきの一日」であったと思います。

(追伸) 気づきと日常生活のジレンマのなかで、夜の委員会は、おおいに盛り上りました。



# 9月度委員会報告

## 政治行政委員会

平成9年9月9日(火) 於:米子食品会館 出席者/12名

演題/「米子崎津地区開発問題」について

講師/(財)米子崎津地区開発促進公社

常務理事 兼 事務局長 清間勉氏

内容/1. 上記について現在迄の経過及び今後の進展状況を聞く

- JRA誘致について

- 質疑応答/委員長他

中ノ森会員

「市の財産となる運用計画は出来ないか!?'と提案・質疑を行った。

2. 11月研修会について

高松JRA研修を実施/詳細後日

## 社会プロブレム委員会

平成9年9月10日(水) 於:米子食品会館 出席者/12名

内容/1. 9月担当例会の打合せ

- 司会、受付、会場、備品、2次会等担当者を決定する
- 委員会タイムの内容、担当の決定
- 講演内容の確認

年間一度きりの担当例会、気を引き締めて元気よく是非とも良い例会にしようとメンバー一同決意を新たにして望むことをちかった。

## 地域ビジョン委員会

平成9年9月9日(火) 於:米子食品会館 出席者/8名

演題/「合併問題について」

講師/ミサワホーム(株)

長谷川義明氏

内容/1. 都市間合併の推進理由

2. 周辺市町村の税収状況
3. 地方交付税の今後と合併問題との関わり
4. 米子市と周辺市町村の意見の相違
5. 今後の取り組みについて

## 経営委員会

平成9年9月10日(水) 於:大連 出席者/13名

演題/「建設業界における規制緩和及び諸問題について」

講師/内部講師

大野木昭夫氏

内容/内部講師の大野木氏を招き、当委員会からも建設業界に従事されている釜田、足立、近岡の各委員にサブ講師として建設業界の現状や、規制について、又、公共事業における官公庁の体質とその問題点について、資料の提供を受け詳しく説明していただいた。質疑応答では各委員会からの質問について熱のこもった話が行われ終了予定時間を超過した程だった。

## 情報メディア委員会

平成9年9月4日(木) 於:焼肉いこい 出席者/11名

内容/1. 前情報メディア委員長の谷口会員をゲストに迎え、前年の活動状況の話しや、委員会名でもある情報という事についての考え方、それを伝えるメディアについてのとらえ方の意見等を聞いた。

2. 次回委員会の内容について

3. ホームページ、リニューアルについて

## 金融委員会

平成9年9月12日(金) 於:米子食品会館 出席者/12名

内容/NHK制作「ビッグバンがやってくる」第1部、第2部を見ました。その後、今後の委員会の進め方について検討しました。

## 広報委員会

平成9年9月2日(火) 於:米子食品会館 出席者/8名

内容/10月、11月ハンサム打ち合せ

## 総務委員会

平成9年9月9日(火) 於:ホールサムイン皆生 出席者/13名

内容/1. 中央会勧誘のパンフレットについて、原案通りで作成  
2. 新入会員のオリエンテーション、カリキュラムについて  
3. OB交流会について

日程:10月13日~18日迄の間

場所:海王

その他:ゲーム担当 萬田会員他(次回委員会で報告)

4. 中央会会則、規約変更の件(継続審議とする)

5. その他

●例会終了時の出席報告について、9月例会は久古副委員長が行い発表者は、例会ごとに交替する。

●新入会員増員について

## 21地球委員会

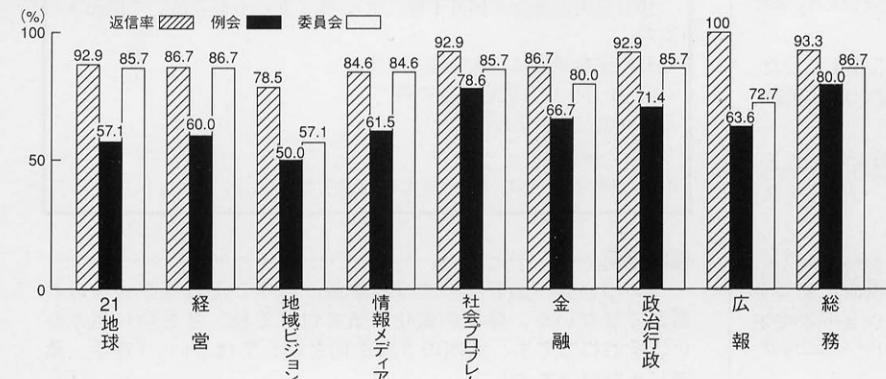
平成9年9月8日(月) 昼の部:リサイクルプラザ 出席者/10名

夜の部:アーバンホテル 出席者/9名

内容/岸本町にあるリサイクルプラザ(不燃物処理施設)を見学。従来埋立処分してきたごみを先進の設備機器で分別し処理する様を見る。1日あたり50tあまりあったごみを12~3tにまで減容できるとの事。しかしあまりにも膨大な空き缶やペットボトルの量、人の手による選別作業などを目の当たりにしてごみ減らしの必要性と、分別回収の重要性などを改めて認識。帰りに自動販売機のジュースを買う事すら気がひける思いであった。

夜は場所を移し見学会の感想を交えながら様々な環境問題について議論を重ね、まずは個々の「気づき」が必要ということで次回からは具体的なテーマを探り上げていく事になった。

## ■9月例会・委員会出席



## 9月例会出席状況

委員会名	会員数	返信	出席
21 地球	14	13	8
経 営	15	13	9
地 域 ビ ジ ョ ン	14	11	7
情 報 メ デ ィ ア	13	11	8
社 会 プ ロ ブ レ ム	14	13	11
金 融	15	13	10
政 治 行 政	14	13	10
広 報	11	11	7
総 務	15	14	12
役 員	6	6	6
合 計	131	118 (90.1%)	88 (67.2%)

# 中央会インターネットメール紹介

## 岩井さんからのメール.txt

始めまして開発業をしている山口県の岩井といいます。貴方のHP楽しく拝見し、メールを出させて貰っています。インターネットのシステムの価値観が解れば解るほど、微力の私には「救世主」のような感じがします。地方に居ながら情報交換で感性「波長」が合うもの同士が「交流」出来るからです。# # =今からは個性「特長、オンリーワン」が活躍する時代が必ず来ると思います。私は脳卒中になり「現在リハビリ中」今まで見えなかつたものが見えてくるようになりました。

## 聞いてごしない Part 11

### 「新陳代謝」

仕事柄商店街の近辺をよく通る。皆さんは近年あまり通られた事がないかもしれません、最近、9号線沿い、商店街の裏側、大型店へとぬける道への路面に、古着のカジュアルショップ、銀製品、アクセサリー、雑貨のショップなど、個性豊かな路面店が次々と出現してきている。そういえば、倉吉での県総会のコンパニオンも、ある古着屋を見にくるといっていた。

旧態依然の商店街で、いつしかシャッターを閉じる時をまっている旧家もあれば、金もなければ、のれんもなし、あるのは若さと行動力だけ、されど自店のスタンスをしっかりと新しい業態に挑戦している店もある。

常に新しい息吹が吹き込むことにより、郊外化、空洞化をふせぎ、より活力ある街並みになってくれれば幸いである。エールを送りたい。

似た様な事が中央会でもいえるのではないか。

これまでリードしてこられた設立当時の方々や、また団塊世代の諸先輩が去り、平成入会者が大半を占める様になってきた。

会員数もOB総数が現役会員数を越えて、一時期より3割減少している。

「中央会はこげに飲みに行くですか?」と先頃退会された若い方も言っておられたそうな。

しかしまだまだ見捨てたもんじゃない。

皆生トライアスロン、夢みなと博覧会等々青年中央会の為なら、たとえ火の中、水の中といった御人もたくさんおられる。

今夜もそういった方々と朝日町を徘徊し、中央会の行末を論じあおうじゃありませんか。

因みに「新陳代謝」とは国語辞典にこう書いてありました。

①生物の体が、生きる為に必要な新しい物質を取り入れ、古くなった不要なものを体外に出すこと。

②古くなったものが、新しいものにとってかわられること。  
(シリアル)

追伸

メ切り直前に書いてたら(9月18日)「ヤオハンジャパン」倒産のニュースが報道されていた。ある宗教理念に基づき「繁栄」の2文字しかないと信じていたためにショックであった。学ぶべきものが多いと思う。

今からは自分の特技(シンプルな、発想)を活用して世のため人のために少しでも喜んで貰うことに役立てたいと思います。

私も、まだまだ勉強したいと思いますので、企業情報、その他の情報がありましたらいろいろ教えて下さい。今後ともよろしくお願ひします。

「有」岩井産業 代表取締役 岩井亮佑

山口県美祢郡美東町大字大田5615-1

tel 08396-2-0249 fax 08396-2-0660

URL <http://www.joho-yamaguchi.or.jp/iwai/>

資料が必要でしたら送ります

<8/18付で入っていましたメールです。>

## 中央会ホームページ

平成9年8月3日鳥取県境港市の山陰夢みなど博覧会の会場から...

全国CATV105局ネット衛星2号生中継

**とびっきり鳥取発信!**



<企画・制作> 鳥取県西部中小企業青年中央会

<協力> 鳥取県

鳥取県西部青年中央会

高知県中小企業団体青年協議会

(株)サンライズコミュニケーションズ西日本

(株)山陰ビデオシステム

鳥取ケーブルテレビ連絡協議会

この番組は、鳥取県西部青年中央会の平成8年度地域ビジョン委員会の企画により、地域ビジョン委員会が中心となり、実行委員会を組織し、VTR撮り・前準備・当日の作業等そのほとんどを西部青年中央会の会員で作り上げた番組です。

番組は、鳥取と高知の観光地案内・特産品の紹介や特産品のプレゼントコーナー・山陰夢みなど博覧会の各バビリオンの紹介、鳥取県西部中小企業青年中央会のご紹介等、盛り沢山の内容で構成された2時間番組です。

STAFF  
高知会場

ホームページに戻る

## 10月例会案内

とき 10月15日(水) PM 6:30開始

ところ ホテルサンルート米子

講師 新日本海新聞社

鳥取発特報部部長代理 記者

田村耕太郎 先生

演題 「広域合併について」(仮題)

## 10月役員会報告

10月定例役員会が10月1日(水)、米子食品会館に於いて開催された。

当日の主な議題は、次の通りです。

(1) 10月、11月例会開催の件

(2) OB交流会実施の件

(3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

## 編集後記

ついつい食べ過ぎてしまう秋本番。今年こそは某副会長のお言葉ではないが、体型の変化に気を付けて秋、冬を乗り越えた。それにしても、家の3段を何とかしてほしい。「空手、柔道じゃないですよ」